



渋井哲也

フリーライター・ノンフィクション作家

1969年10月17日 栃木県那須町生まれ。

東洋大学法学部卒業後、長野日報社に入社。学校図書館や子どもの人権、保健室登校、木曾谷への中国人強制連行などを連載する。退社後フリーに。東洋大学大学院文学研究科教育学専攻博士前期課程修了。修士論文は「インターネットにおける、子ども・若者の居場所に関する検討」。

<<著書>>

- ・ (共著) 「震災以降 東日本大震災レポート」 (E-lock.planning、三一書房)
- ・ (共著) 風化する光と影 “メディアから消えつつある震災”の中間報告 (E-lock.planning、マイウェイ出版)
- ・ (共著) 3.11 噂と真実 (スコラマガジン)
- ・ (共著) 3.11 絆のメッセージ (東京書店)
- ・ 自殺を防ぐためのいくつかの手がかり (河出書房新社)
- ・ 解決! 学校クレーム (河出書房新社)
- ・ 実録・闇サイト事件簿 (幻冬舎)
- ・ 学校裏サイト 進化するネットいじめ (晋遊舎)
- ・ (共著) セックスという迷路 (長崎出版)
- ・ (共著) 絶対弱者 孤立する若者たち (長崎出版)
- ・ 若者たちはなぜ自殺するのか (長崎出版)
- ・ 明日、自殺しませんか (幻冬舎)
- ・ ウェブ恋愛 (筑摩書房)
- ・ ケータイ・ネットを駆使する子ども、不安な大人 (長崎出版)
- ・ 男女七人ネット心中 (新紀元社)
- ・ ネット心中 (日本放送協会出版)
- ・ 出会い系サイトと若者たち (洋泉社)
- ・ チャット依存症候群 (教育史料出版会)
- ・ 「田中康夫」研究 (ワニブックス)
- ・ アノニマス ネットを匿名で漂う人びと (情報センター出版局)
- ・ (共著) 僕たちの胸のうち (ワニブックス)

※児童書

- ・ 気をつけよう! ケータイ中毒 第1~3巻 (汐文社)
- ・ 気をつけよう! ゲーム中毒 第1~3巻 (汐文社)
- ・ 気をつけよう! ネット中毒 第1~3巻 (汐文社)
- ・ 子どものためのパソコン・IT用語事典 (汐文社)

<<主なテレビ出演>>

ETV特集（NHK教育）、有吉ジャポン（TBS、スタジオ出演有）、ノンストップ（フジテレビ、スタジオ出演有）、スーパーニュース（フジテレビ）、ホンマでっかTV（フジテレビ、スタジオ出演有）、ミスター・サンデー（フジテレビ）、モーニングバード（テレビ朝日）、スーパーJチャンネル（テレビ朝日）、ビートたけしのTVタックル！（テレビ朝日、スタジオ出演有）、暴露ナイト（テレビ東京、スタジオ出演有）

<<主な講演先>>

杉並区児童青少年センター「ケータイ・ネットを駆使する子ども／不安な大人」
仙台グリーンケア研究会「自殺未遂者対策」
東京経済大学「被災地の記憶」
関西大学「インターネット裏事情」
中央大学「東日本大震災で伝えたいと思ったこと」
メディアリテラシー教育研究会「生きづらさ取材すること」
福岡県教育委員会「インターネットと人権」
中野区野方地域センター「携帯電話講演会」
品川区南大井文化センター「大人の知らないネット社会」
さぼろ自由学校「遊」「婚活時代の恋愛学 広がる格差と悩める関係」
東京都「ミサは本当に死にたかったのか？ 若者はなぜ自殺するのか」
中野区南部地域子ども家庭支援センター「ケータイ・ネットに依存する子どもたち」
世田谷区保健所「大人の知らない子どものこと」
富山県砺波地区生徒指導協議会「ケータイ・ネットと子どもたち」
KDDI南関東総支社「子どもたちのケータイ利用における安全・安心とは？」
那須地区青少年育成推進連絡協議会「ケータイ・ネットを駆使する子ども／不安な大人」
東京都立中部総合保健福祉センター「若者はなぜ自殺するのか」
京都市地域生徒指導連絡協議会「進化するネットいじめ」
大分市養護教諭後期研修会「癒しと危険が交差するインターネット」
日本性教育協会「若者の生と死」
札幌学院大学「ネットをめぐる人間関係」
NPO多摩コミュニティカレッジ「出会い系サイトとワカモノたち」
にいがた思春期研修会「思春期におけるインターネットとセックス」
世田谷区北沢区民講座「大人の知らないメール、チャットの中の子どもたち」
福島県精神保健福祉協会「人と人のきずな ～子どもたちとネット社会の功罪」
長野県松本市中央図書館「いま、子どもたちは…」
横浜市立大学アーバンカレッジ「ケータイのある社会に生きること」
福岡県青少年健全育成対策本部「少年犯罪ー子どもの心の叫びー」
東京都中央労政事務所「フリーターの次を考えよう」
横浜市婦人会館講座「壊れていくオトコノコ～オトコらしさと暴力」